21世紀の新潟を語る

第三次総計 市民懇談会

明日の新潟が熱っぽく語られました（江東地区会場で）

市では、二十一世紀の新潟を展望し、まちづくりの基本指針となる「第三次総合計画」の策定を進めています。市民の意見を計画に反映させるため、先月下旬、地区別市民懇談会、七地区で開催され、全市的な意見や地域に密着した切実な要望など、多くの意見・要望が活発に出されました。

今回の地区別市民懇談会は、昨年の論文募集（入選した十編は市報に連載中）と同様、市民の声を計画に反映させようとするものです。

三月二十四日の西地区（出席者三十一人）を皮切りに、二十六日北地区（同十五人）、二十七日坂井輪地区（同四十一人）、二十九日中央地区（同四十三人）、三十日中地区（同二十九人）、三十一日江東地区（同七十六人）と江南地区（同三十三人）の七地区で開かれ、二百六十八人の市民が参加しました。

熱っぽい雰囲気の中、様々な意見が出されましたが、全市的なものとしては、①鳥屋野潟、佐潟の整備と、観光資源としての活用②西港の整備③西海岸に、釣り船やレジャーボートを係留する船溜の建設④姉人センターの新設⑤交通体系の改善と万代橋下流や阿賀野川の架橋⑥保安林の買収と公園化――などがあげられました。

また、地域的なものとしては、①地区内道路の新設・改良②私道の市道への認定③下水道の整備促進④老人憩いの家やスポーツ施設などの設置⑤学校の増改築――などです。

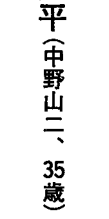
このほか、「時間をもっと長くしてほしかった」「今後も機会を作ってこの種の懇談会を開いてほしい」という意見も出されました。

なお、来月からは、学識経験者、各行政機関、その他団体代表などから成る「総合計画審議会」が発足し、計画案の審議にかかる予定です。

第三次総合計画 入選論文 ⑨

ブローニュの森を新潟に

山本　正平（中野山二、35歳）



近年、高度成長から低成長、ハードからソフトへと時流が大きく変化する中で、我々は「経済優先」から「ゆとり」「うるおい」といった精神的豊かさ、地域の個性を大切にする社会への転換を求めるようになってきた。

「緑に囲まれた都市」を求める

本市の五十五年の市政世論調査では「新潟市をどんな性格の町として次の世代に残したらよいと思いますか」との質問に「自然に恵まれ、緑に囲まれた都市」という回答がトップであった。このように市民の緑を求める声は大きい。それに対応して市当局も大いに努力してきているが、都市公園の一人当たりの面積は、五十八年三月末現在二・七四平方㍍である。全国平均四・五平方㍍を大きく下回っており、欧米の二〇～三〇平方㍍には遠く及ばない。

では、どのようにして緑を確保してゆくか。その手だてとして森林公園の建設を提案したい。

35㌶のグリーンベルト

地価の高い市街地を避け、市街化区域と調整区域の境界線に沿って、潟川埋め立て地・阿賀野川運動公園・県立鳥屋野潟公園・屋外総合体育施設予定地・赤塚埋め立て地・佐潟自然公園などの拠点を包括するグリーンベルト（森林公園）を建設するのである。

自然林としての風格を維持するため幅は二百㍍とし、延長三十五㌔㍍、総面積は七百㌶。前述の拠点部分を除くと約四百㌶である。

あの小枝に小鳥がいるよ（青山保安林での探鳥会から）

これが実現すれば次のようなメリットがあげられる。

1市街地のスプロール化防止

近年、人口増加と都市の発展はイコールではなく、適正人口について十分検討する必要がある。市街化区域を周辺に拡大する線引きの見直しは慎重に対処すべきである。

2市街地から比較的近く、地域的偏在もないので、だれでも気軽に自然に親しみ野外活動ができる。各拠点が有機的に連結されるので集積のメリットが発揮できる。

3五十年生の樹木は十人の酸素供給源になると言われるように、大気の浄化が図られる。

4郊外から集まってくる自動車から市街地の環境を守るための防壁となる。つまりバスターミナルおよび駐車場を整備して、自動車（特にマイカー）の市街地乗り入れをここで制限し、極力バスを使用するようにする。

市民が作る新潟の森

四百㌶という広大な森林公園を実現するのは、毎年十㌶、二十㌶整備しても四十年、二十年と長期間にわたる計画である。したがってこの計画は市当局と市民が一体となって推進していかなければならない。その具体的な方策として次のことが考えられる。

①基本計画は市当局や学識者だけでなく、農業団体、商工会議所、造園業界、自治会などの幅広い市民で構成する市民委員会が策定する

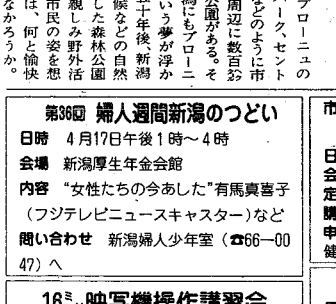
②用地買収や造成は市が年次計画に基づいて策定する

③市民から出産、成人、結婚、還暦など人生の節目に、一口千円の寄付をしてもらい「緑の基金」を創設する

④毎年一回市民植樹祭を行う

⑤樹木の管理については緑と花の協会、自治会・学校・老人クラブ・ボランティアの協力を求める

欧米ではブローニュの森、ハイドパーク、セントラルパークなどのように市街地やその周辺に数百㌶規模の森や公園がある。そこから「新潟にもブローニュの森を」という夢が浮かんできた。五十年後、新潟の土壌や気候などの自然条件に合致した森林公園で、自然に親しみ野外活動を楽しむ市民の姿を想像することは、何と愉快なことではなかろうか。



広大な湖面を持つ鳥屋野潟

交通体系の優位性を生かせ

工業立地推進協議会が報告

既存工業の振興と企業誘致を図るため、昭和五十七年九月から審議を重ねていた「新潟市工業立地推進協議会」の審議結果がまとまり、三月二十六日、平山敏雄会長から若杉市長へ報告書が手渡されました＝写真。

主な内容は、工業の発展をはばむものとして①地価高②商業、住居地域が混在していて、拡張が困難――などが上げられ、これらのことから企業の市外流出が続いている。

しかも進出を強く望んでいるクリーン産業――精密機械やICに代表される電子工業は湿度や塩害を嫌い、内陸部への立地を求めていて、本市へ進出する条件はきわめて難しい状況にあります。

一方、新潟市は東京経済圏に近く、対岸諸国との交流の拠点でもあり、港湾・新幹線・高速自動車道――など交通体系の優位性や日本海側最大の中枢管理機能をもつ特性を生かし、今後は①港の見直し②農業との調整を図り土地の確保③技術水準の向上④誘致条例を含めた優遇措置――など工業振興施策の方向が盛り込まれています。

市では、この報告を受けて、条例制定を含む対策を検討し、企業誘致と既存工業の一層の発展を図っていきます。

第36回 婦人週間新潟のつどい

日時　4月17日午後1時～4時
会場　新潟厚生年金会館
内容　"女性たちの今あした"有馬真喜子（フジテレビニュースキャスター）など
問い合わせ　新潟婦人少年室（☎66―0047）へ

16㍉映写機操作講習会

月日	会場	時間	申し込み
4/18.5/16.6/13 7/18.8/21.9/12 いずれかの組合のよい日を選択	市視聴覚センター（西大畑町 458-1）	午前9時～午後4時	電話で会場（☎22―7400）へ

はかりの定期検査

会場	月日	区域	受付時間
上出店協同組合事務所	4・23	本町5、6番町の露店市場	午前9時～午後3時
本町中央市場事務所	4・24	本町5、6番町	
本町12振興協同組合事務所	4・25	本町中央市場	
	4・26	本町12、13番町の露店市場	

交通災害共済　加入はお済みですか

会費　1年間1人350円
申し込み　交通防災課（市役所3階）、各地区事務所・連絡所へ

市民健康教室「月経と基礎体温」

日時　4月27日午後1時半～3時
会場　中央公民館
定員　50人（先着順）
講師　星井正春（竹山病院）
申し込み　4月27日正午までに電話で保健衛生課（内線584）へ

幼児看護法講習会

日時　5月8日～24日毎週火曜日午前9時半～11時半（計6回、無料）
会場　日赤新潟県支部（西保健所隣）
対象　1～3歳児をお持ちの人（先着20人）
内容　事故の予防と応急手当、病気の予防と看護法ほか　※保育室あり
持参品　母子健康手帳
申し込み　電話で会場（☎31―3121）へ

成人病食事相談

日時　4月20日午前9時～11時
会場　西保健所
申し込み　電話で会場へ

公衆浴場「入浴感謝デー」

期日　毎月第3日曜日
内容　レモン風呂、親子同伴の場合は小学生以下は入浴無料

離乳食講習会

持参品　母子健康手帳

月日	会場	時間	対象
4・18	東保健所	午後1時～3時半	生後4カ月に達した赤ちゃんをお持ちのお母さん

木戸地区　育児講習会

日時　4月20日午後1時15分～1時半受け付け
会場　木戸公民館
対象　生後6、7カ月に達した乳児をお持ちのお母さん15人
持参品　母子健康手帳
申し込み　電話で東保健所へ

献血車「ゆうあい号」

月日	時間	会場
4・16	午前8時40分～11時半	日本道路機新潟支店（万代3）
	午後1時～4時	新潟市環境事業公社（小針）
4・17	午前10時～午後4時	ウオエイ内野店前（内野町）
4・18	午前9時半～正午	南浜病院（鳥見町）
	午後1時～3時半	松浜病院（松浜町）
4・19	午前10時～午後4時	ウオロク河渡店前（幸栄3）
4・20	午前9時半～午後3時半	上沼産業船所（石山）
4・21	午前10時～午後4時	ジャスコ上新潟店前（新潟八千代ライオンズクラブ）
4・22	〃	ライオンドー石山店前（東中島2）

※正午～午後1時まで受け付け休みます。

保健婦による健康相談

地区	月日	会場	時間
鳥屋野	4・16	（医師による相談）鳥屋野地区保健センター	（栄養士による相談もあり）午後1時半～2時
木戸	4・17	木戸公民館	午前10時～正午 午後1時～3時
潟川	4・18	潟川隣組所	〃
南浜	4・19	南浜連絡所	午後1時半～3時
両川	4・20	花の牧集会所	午前10時～正午 午後1時～3時
松浜、南浜、潟川		北地区保健センター	〃

※老人保健法「健康手帳」をお持ちの人は持参下さい。

育児相談

持参品　母子健康手帳

地区	月日	会場	時間
西地区	4・19	西地区保健センター	午後1時～3時
坂井輪	〃	坂井輪地区 〃	午後1時～2時半
鳥屋野	4・25	鳥屋野地区 〃	午後1時～3時

幼児の食事講習会　春野菜と乳製品を使って

日時　4月20日午前10時～正午
会場　西保健所
対象　1～3歳児をお持ちのお母さん、または保育者　**持参品**　エプロン、母子健康手帳、三角きん
申し込み　電話で会場へ